



1. J-PEAKS伴走チームによるサイトビジット実施

首席サポートの濱口道成氏、次席サポートの村上雅人氏、担当サポートのベントン・キャロライン氏をはじめ、各採択大学リエゾン、文部科学省・日本学術振興会とともに、本学J-PEAKSの進捗状況確認と意見交換を実施、量子コンピューティングセンターやYILの視察が行われました。（10月）

2. OIST-Keio Collaborative Innovation Dialogue（第1回）実施

OISTのGil Granot-Mayer氏（Executive Vice President for Innovation and Outreach, Vice CEO）が来塾し、本学イノベーション推進本部とOIST Innovationの連携について意見交換を実施しました。（10月）

3. X Dignityセンターのジャーナル「FOCAL」発刊

誰もが「知の探究者」となり、世界を結び、新たな時代を切り拓くジャーナルです。X Dignityセンターの活動をもとに、毎号、大学と産業界、一般社会とを新たにつなぐ領域横断研究の最前線に焦点をあて、読者とともに、21世紀における尊厳をめぐる価値を考究する対話の場についていきます。（10月）

4. 日米量子WS「Accelerating Japan-U.S. Cooperation in Quantum Technologies」開催

量子コンピューティングセンターとCSIS（Center for Strategic and International Studies）の共催のもと、量子イノベーション・エコシステムの発展を加速させるためのパートナーシップや投資の在り方など、多様な取組について議論が展開されました。（10月）

5. 伊藤塾長と慶應AIセンターが、カーネギーメロン大学（CMU）とのパートナーシップ深耕のために現地訪問

Farnam Jahanian CMU学長と伊藤塾長によるトップ交流を実現するとともに、設立から1年を迎えた慶應AIセンターの研究者やパートナー企業の参加者によるCMU研究施設の視察やCMU研究者との意見交換を実施することで、今後の連携強化の可能性を確認しました。（9月）